

登録コード	MA000200	開講年度	2026			
授業科目名	生命倫理・医学概論				担当教員	古庄 知己
英文授業名	Bio-medical Ethics and Outlines of Medicine				副担当	福嶋 義光・樋笠 知恵・片上 幸美・山浦 麻貴
単位数	3	講義期間	前期(前半)	曜日・時限	木曜・5時限	対象専攻/学年
講義室	旭総合修士講義室		授業形態	講義	授業科目区分	1年次必修
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				生命倫理・研究倫理の基礎を習得する。	
(2)授業の概要	先端医療技術の臨床応用だけではなく、先端科学を研究する際にも高い倫理感が求められる。生命倫理講義では生命倫理の基本的な考え方を学ぶと共に、現在我国で公表されている種々のガイドライン（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」など）を紹介する。生命倫理に関する「情報収集能力」、「分析能力」、「（グローバルな）情報発信能力」を身につけることを目標にしている。 APRIN eラーニングプログラムは、信州大学が中心になって、研究者行動規範教育のe-learningコンテンツを作成し、全国の大学院教育に普及させる取り組みである。このe-learningシステムを通じて、「責任ある研究行為」および「ヒトを対象とした研究」について学ぶ。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	生命倫理学の基本的な考え方を学び、先端医療技術における生命倫理の問題を理解する。また、医学概論では現在の医療の仕組みを理解し、社会が医学に寄せる期待を認識するとともに、医学とは何か、人間とは何か、そして健康とは何かについての理解を深める。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOS）	・医療系研究者にとって生命倫理とはどのような問題であるのかを理解し、説明できるようになる ・責任ある研究行為に基づいて研究を実施し、学習する上での基本的な行動規範を実践できるようになる					
(5)授業計画	・4/9（木）16:20-17:50【生命倫理1】 ガイダンス，生命医学倫理 総論（福嶋先生） ・4/16（木）16:20-17:50【生命倫理2】 生命医学倫理の基本原理（福嶋先生） ・4/23（木）16:20-17:50【生命倫理3】 倫理委員会と申請書類，先端医療と生命倫理（山浦先生） ・5/7（木）16:20-17:50【生命倫理4】 Small Group Discussion I（生命倫理）（福嶋先生） ・5/14（木）16:20-17:50【生命倫理5】 Small Group Discussion II（研究倫理）（樋笠先生、片上先生） 6/29（月）6-7時限 Zoomによるオンライン 中込さと子先生:生命倫理学概論(6時限 18:00-19:30) 福嶋義光先生:ゲノム時代の生命倫理(7時限 19:40-21:10) 7/4（土）【生命倫理特別授業】Zoomによるオンライン 9:00-12:00 スモールグループディスカッション（修士課程・博士課程 合同授業） 13:30-16:30 特別講義 「これからの臨床研究」 司会：福嶋義光 ・13:30-13:35 福嶋義光 はじめに：特別講義のねらい ・13:35-14:20 市川家國 「臨床研究の有益性向上について」 ・14:20-15:10 山浦麻貴 「信州大学の取組」 ・15:20-15:50 樋笠知恵 「研究で適切にAIを利用するために」 ・15:50-16:20 片上幸美 「研究活動におけるリスクマネジメント」 ・16:20-16:30 まとめ 接続情報等の詳細については、メールおよびeALPSを通して連絡する。					
(6)授業の進め方	講義，スモールグループディスカッション，特別授業，e-learning					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	APRIN e-ラーニングプログラム履修については、指定の期限【7月3日(金)】までに必ず修了すること。教材の受講内容に関して、アンケートによるフィードバックを依頼する可能性がある。 履修方法・アンケートの回答依頼については、適宜、メールで連絡する。 講義室は、授業日、授業時間によって異なるので注意すること。					
(8)成績評価の方法	すべての授業に出席することを求める。その上で、課題に沿ったレポート提出すること。 eラーニング(eAPRIN)の受講(修了):50点 スモールグループディスカッションでの議論・レポート:50点					
(9)成績評価の基準	eAPRINは単元ごとに確認テストを受講し、全単元において80%以上の正答をすることで修了要件を満たす。 スモールグループディスカッションでは、講義・eラーニングを通じて得た知識や議論を用いて、与えられた課題に対して自身の見解を提示し、グループメンバーと有意義な意見交換を行うことを求める。 最終的な成績は、上記の評価方法の総合点によって評定する。					

(9)成績評価の基準	- 合格水準にある(69点 60点):研究者倫理に関わる基本問題を説明し、課題に対する既存の見解が提示されている - やや上にある(79点 70点):研究者倫理に関わる応用課題を指摘し、課題に対する既存の見解が提示されている - かなり上にある(80点以上):研究者倫理に関わる応用課題を指摘し、課題に対する既存の見解に加え、自身の見解が適切に示されている - 卓越している:「かなり上にある」のうち、示された内容が教員を感心させるレベルにあるもの
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	担当教員等がメールにて受け付ける。 古庄知己: ktomoki[at]shinshu-u.ac.jp 福嶋義光: yfukush [at] shinshu-u.ac.jp 中込さと子: snakagomi[at]shinshu-u.ac.jp 樋笠知恵 hikasa [at] shinshu-u.ac.jp 片上幸美: katagami_y [at] shinshu-u.ac.jp 山浦麻貴: myamaura [at] shinshu-u.ac.jp
【テキスト，教材，参考書】	1) 生命医学倫理ノート （松田一郎著）（日本評論社，2,000円） 2) トム・L・ピーチャム（立木，永安訳）：生命医学倫理のフロンティア（行人社，1,800円） 3) 資料集 生命倫理と法（内山 編）（太陽出版，3,980円） 4) 医療概論 （千代豪昭，黒田研二編）（医学書院，2,800円）